

## 災害への備え

### いざという時のために備え

#### ■ 災害救護訓練の実施

静岡、浜松、伊豆、裾野の県内4つの赤十字病院に救護班を編成し、対応力や実践力向上のため訓練や研修を実施しています。

7年度は、伊豆赤十字病院を舞台に、医療機関として充分に機能維持できるよう県内各赤十字病院の救護班が支援を行う訓練を実施します。



#### ■ 災害救護資機材の整備

発災時に、傷病者に対しトリアージの実施および軽症者の診療を行う病院前救護所となる大型のエアテントを浜松赤十字病院に整備します。

このテントは、季節、夜間を問わず活動できるよう発電機や空調設備、LED室内灯を備えています。



訓練で病院前救護所として運用するエアテント

### 地域や職場、学校で学ぶ災害への備え

#### ■ 赤十字防災セミナーの実施

自治会や町内会、企業、学校等を対象に、自宅（部屋）の平面図を描くゲームを通じて、地震で起こる被害や家具の安全対策の必要性を把握・理解し、身の安全を守る方法について学ぶ「家具安全対策ゲーム(KAG)」などのセミナーを提供しており、6年度は15回実施しました。あわせて、新たに27名の指導者を養成しております。7年度も引き続き、地域の皆様にセミナーを提供します。



自治会で避難所運営体験を実施

#### ■ 被災地への支援を通じての講話

6年度は、能登半島地震において被災地で活動した職員が、実際に被災地で活動をして感じた、いのちを守るために必要な備えや知識について、青少年赤十字加盟校で講話しました。

講話を聞いた生徒から、「水や食料だけでなく日用品なども備蓄する必要があることを初めて知った。」「まずは地域の防災訓練で、学生の自分たちにできることを率先して行動したいと思った。」などの感想が寄せられました。



高校生に対し講話を実施する職員

## 災害への備え、さらには救急法等の講習や青少年赤十字の推進などの事業を行っています！

#### ■ 救急法等の講習の実施

#### 日常生活の中で いのちを守るために

日常生活における病気や事故の防止、けがをした際の応急手当の方法など、いのちを守り健康で安全な生活を送るための4つの講習を開催しています。

7年度は、これらの講習を約620回、21,500人の方に受講いただけるよう取り組みます。

講習の詳細について  
はコチラ



#### ■ 青少年赤十字(JRC)活動の推進

#### 人道のもとになる 「やさしさと思いやりの心」を育むために

5年度から3か年計画で、「やさしさと思いやりの心」を育む書籍を県内のJRC加盟校に「青少年赤十字文庫」として整備する事業を進めており、6年度は、加盟中学校等104校に約5,300冊を整備しました。

6年度購入希望が多かった書籍

●もうじきたべられるばく ●海よ光れ! 3・11被災者を励ました学校新聞

●にじいろのしあわせ ●「ちがい」ってなんだ?障害について知る本



青少年赤十字文庫の本を読む中学生

7年度は、加盟高等学校115校を対象に「青少年赤十字文庫」を整備します。



これらの活動は、皆様からの温かなご支援により続けることが出来ます。引き続き、赤十字活動資金にご協力お願いいたします。